

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	抗原分子の油状ナノ分散化技術を利用した低侵襲性経皮ワクチンの創製
研究代表者	後藤 雅宏（九州大学・大学院工学研究院・主幹教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、応募者が独自に開発した生体分子の油状ナノ分散化技術（Solid in oil (S/O)化技術）を用いた経皮吸収可能なワクチン創製に関するものである。これまで、応募者らは本技術の基礎開発を進め、動物実験において、世界で初めて注射投与と変わらない経皮吸収ワクチン効果（抗体産生）を確認している。がん免疫治療や花粉症の治療において、本研究では、基礎から実用への「橋渡し研究」として医学系研究者とも連携しており、計画は緻密に練られていて、大きな研究成果が期待できる。</p> <p>以上の理由から、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>